

九州大学工学系地区基本設計

計画説明書

2002年6月

## はじめに

九州大学は、福岡医科大学(1903年設立)と工科大学とからなる九州帝国大学として、1911年に創設された。創設当時から、新しい研究成果を生み出す学風を維持し、多方面に通じ創造性に富んだ人間性豊かな人材の育成に努め、優秀な人材を多数輩出してきた。それとともに、中核的な研究・教育拠点として、わが国最高の大学を目指し、切磋琢磨しながら、世界に冠たる優れた研究業績を積み重ねている。

21世紀は高度知識社会の時代といわれており、科学技術、学術文化の飛躍的発展と次代を担う優れた研究者や高度専門職業人の育成が強く求められている。九州大学は、半世紀近く稼働してきたわが国の高等教育システムの硬直化がもたらした諸課題を正面からとらえ、新しいシステムづくりを模索しながら、時代の潮流の先陣をきるべく、大学院教育の飛躍的充実をめざす大学改革を進めている。

九州大学で蓄積された科学技術や学術文化、多様な資料や施設などの開放を通じて、地域社会との交流を深めることも強く求められており、大学改革によって国際的・先端的学術拠点としての大学の構築を進めるとともに、それに相応しい研究・教育施設の整備、新しいスタイルのキャンパス生活を実現するため、この度、福岡市西区元岡・桑原地区、志摩町及び前原市に新天地を求め、新キャンパスを建設するものである。

新キャンパス用地は、百万都市福岡の西方に位置すると同時に、悠久の歴史と自然に恵まれた環境にある。九州大学は、大学改革による新しい組織づくりと新キャンパス建設をほぼ同時期に推進できる千載一隅の機会を得て、恵まれた環境のもとに、21世紀の新しい大学の歴史と伝統を築き、世界的レベルの知の活動を展開していくことが大いに期待されるところであり、2001年3月には「九州大学 新キャンパス・マスタープラン2001」を評議会で承認、策定した。

この「九州大学 新キャンパス・マスタープラン2001」を前提として、九州大学では、第1期に移転する工学系地区の施設について、1年間にわたり、新キャンパス計画専門委員会ウエスト・ゾーンWG、同コアチーム、MCM設計共同体、および関係機関による精力的な検討が行われた。ここに、キャンパスのアクティビティ、景観形成、エコロジーという3つの視点をもとにした工学系地区デザイン・ガイドラインと、これにもとづく施設計画等をまとめ、「九州大学工学系地区基本設計」として提示する。九州大学の新たなページを飾ることになる新キャンパス工学系地区の施設建設と第1期移転に向けた関係各位の深いご理解をお願いする次第である。

2002年6月

九州大学新キャンパス計画専門委員会

**1. 工学系地区基本設計の考え方**

1.1 工学系地区基本設計の役割	1 - 1
1.2 敷地特性の分析	1 - 2
1.3 工学系地区基本設計における骨格の構成	1 - 3
1.4 工学系地区基本設計における土地利用の方針	1 - 4
1.5 工学系地区基本設計における計画条件と施設配置の考え方	1 - 5
1.6 工学系地区のオープンスペースの考え方	1 - 6

**2. デザイン・ガイドライン**

2.1 工学系地区デザイン・ガイドラインの役割	2 - 1
2.2 全体デザインの方針	2 - 2
2.3 建築デザイン	
2.3-1 主なキャンパスイメージ強化のための部位と要素	2 - 3
2.3-2 スカイライン	2 - 4
2.3-3 立面構成	2 - 5
2.3-4 アイ・ストップ	2 - 7
2.3-5 ゲート	2 - 8
2.3-6 キャンパス・コモン内施設	2 - 9
2.3-7 エントランス	2 - 10
2.3-8 ブリッジ	2 - 11
2.4 オープンスペース・デザイン	
2.4-1 求められる機能	2 - 12
2.4-2 キャンパス・モール	2 - 13
2.4-3 キャンパス・コモン	2 - 14
2.4-4 グリーン・コリドー	2 - 15
2.4-5 植栽	2 - 16
2.4-6 屋外照明	2 - 17
2.4-7 屋外サイン	2 - 18
2.5 工学系地区用地別誘導指針	2 - 19

**3. 施設計画**

3.1 施設計画の概要	3 - 1
3.2 研究教育棟	
3.2-1 基本方針	3 - 2
3.2-2 平面計画の骨格	3 - 4
3.2-3 平面計画の要素	3 - 5
3.2-4 断面計画	3 - 6
3.3 キャンパス・モール隣接施設	
3.3-1 基本方針	3 - 9
3.3-2 平面計画	3 - 10
3.3-3 断面計画	3 - 11
3.3-4 キャンパス・モール	3 - 12
3.4 研究教育棟隣接実験施設群	
3.4-1 基本方針	3 - 13
3.4-2 配置計画	3 - 14
3.4-3 断面計画	3 - 15
3.5 理系図書館・情報基盤センター	
3.5-1 基本方針	3 - 16
3.5-2 平面計画	3 - 17
3.5-3 断面計画	3 - 19
3.6 ウエストゾーン・共同利用施設	
3.6-1 基本方針・配置計画	3 - 20
3.6-2 断面計画	3 - 22
3.7 ウエストゾーン・西地区施設	
3.7-1 基本方針	3 - 23
3.7-2 配置計画	3 - 24
3.7-3 断面計画	3 - 25

**4. 構造計画**

4.1 構造計画の概要	4 - 1
4.2 各施設構造計画	4 - 2

**5. 交通計画**

5.1 道路	5 - 1
5.2 歩行者及び自転車交通	5 - 2
5.3 自動車交通	5 - 4
5.4 公共交通（バス・未来型交通）	5 - 5

**6. 造成計画**

6.1 造成地盤高の設定	6 - 1
6.2 高低差処理	6 - 2

**7. 供給処理施設計画**

7.1 共同溝（ルート）	7 - 1
7.2 共同溝（断面）	7 - 2
7.3 雨水排水	7 - 3
7.4 汚水排水	7 - 4

**8. 設備計画**

8.1 設備計画の基本方針	8 - 1
8.2 電気設備	
8.2-1 電力設備	8 - 2
8.2-2 自然・新エネルギー・新技術	8 - 4
8.2-3 総合監視設備	8 - 6
8.2-4 電話システム	8 - 8
8.2-5 総合情報ネットワーク	8 - 9
8.2-6 セキュリティシステム	8 - 11
8.2-7 防災設備	8 - 12
8.3 機械設備	
8.3-1 空調システム・熱源システム	8 - 13
8.3-2 パッシブシステム	8 - 16
8.3-3 給水設備	8 - 17
8.3-4 排水設備	8 - 19
8.3-5 ガス設備	8 - 19
8.3-6 消火設備	8 - 20

**9. 工学系地区基本設計総合図**

9.1 工学系地区基本総合図	9 - 1
9.2 工学系地区計画諸元（条件）	9 - 2
9.3 工学系地区基本設計模型写真	9 - 3
9.4 工学系地区基本設計イメージCG	9 - 4